

陳情 第32号

受付 平成29年 2月20日

付託 平成29年 3月 1日

取手駅東口改札無人化を再検討し有人化を求める陳情（バリアフリー取手 取手駅東口）

・陳情趣旨

繁栄か衰退か。取手駅は、水戸駅に次ぐ常磐線県内第二位の乗降客数であります。

街の賑わいと交通拠点として重要な役割を果たす駅であり、駅周辺の振興をはかるためにも取手駅の充実を求めていかなければならないものと考えています。また常磐線の東京駅乗り入れも進み茨城県の玄関口にふさわしい駅であります。取手市には駅周辺の事業として北地区土地区画整理事業・東西自由通路事業など計画がありますが、取手駅東口におけるバリアフリー化は駅周辺対策の中でも重要な課題の一つです。

取手駅東西の窓口は日常生活、通勤、通学など日々の生活の中で欠かすことは出来ない存在となっています。このような中、取手駅東口改札口の無人化が進められています。東口におけるバリアフリーが実現していない現状で、改札駅員の介助はありがたく受けさせて頂いております。

これが無人化となると、高齢者・障がい者・小さなお子さん連れにとっては不安を抱えながらの駅利用にならざるを得ません。

・陳情事項

取手駅東口のバリアフリー化が実現していない現状では、取手駅東口の無人化計画を再検討し有人化とすることをJRに要望すること。

以上、陳情いたします。

平成29年2月20日

陳情者

住所 取手市宮和田 985-19

氏名 斉藤たかし

取手市議会議長 殿